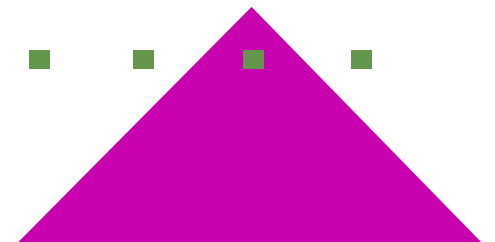


# VoiceXML部会の設立について

2001年6月18日





# VoiceXMLのこれまでのあゆみ

■ 目標：音声によるウェブアクセスの標準化仕様の策定

■ 歴史

- ▶ 1998年10月 Motorola社によるVoXML発表
- ▶ 1999年 2月 IBM SpeechMLの公開
- ▶ 1999年 3月 W3C VoiceBrowserワーキンググループ
- ▶ 1999年 4月 VoiceXMLフォーラム結成 (IBM,AT&T、Motorola,Lucent)
- ▶ 1999年 8月 初期仕様Ver. 0.9リリース
- ▶ 2000年3月7日 VoiceXML 1.0仕様リリース
- ▶ 2000年5月22日 W3C受理





- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

# VoiceXMLの意義

- 1 .IVRにおける '会話制御' 開発の飛躍的生産性向上
- 2 .標準化によるオープン仕様
- 3 .VoIPとの連携
- 4 .VoiceXML 2 . 0 (Multi Modal Browser )への発展性





# VoiceXML部会の位置付け

VoiceXMLフォーラム(米国)

Sponsors(4社)

AT&T, Lucent, Motorola, IBM

Promoters(54社)

沖, 日立, Cisco, Nuance, ...

Supporters(430社)

Nokia, Sun, Philips, HP, Oracle ...

2001年5月22日現在

日本

XMLコンソーシアム  
VoiceXML部会



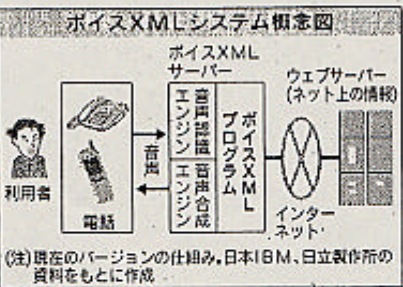
# 電話の声でネット操作

日本IBMなど仕様統一へ

## 最新情報 広く検索

媒体名	日経産業新聞
掲載日	2001.1.16

インターネットの音で検索は、電話検索と同じ感覚で、検索結果も音声で返ってくる。音声がゆっくりと読み上げられるので、目眩や集中力の欠けなどの悩みを軽減できる。音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。



(注)現在のバージョンの仕組み、日本IBM、日立製作所の資料をもとに作成。

日本IBM、日立製作所、音響技術開発事業、音声検索システムの開発を進めている。音声検索システムは、音声認識技術と音声合成技術を用いて、ウェブサーバー上の情報を音声で読み上げ、利用者に伝える。音声検索システムは、音声認識技術と音声合成技術を用いて、ウェブサーバー上の情報を音声で読み上げ、利用者に伝える。

ボイスXMLシステムは、ウェブサーバー上の情報を音声で読み上げ、利用者に伝える。音声検索システムは、音声認識技術と音声合成技術を用いて、ウェブサーバー上の情報を音声で読み上げ、利用者に伝える。

音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。

音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。

音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。

### 一語

インターネット上の検索結果を早く出すための「女性口」をネット。検索エンジン「検索」を米国の「検索」企業「検索」が提供している。検索エンジンは、検索エンジンの検索結果を早く出すための「女性口」をネット。検索エンジン「検索」を米国の「検索」企業「検索」が提供している。

### Sangyo

携帯機器のネット接続サービスの利用が、音響ボイスXMLシステムにより、100万件を超える検索結果が提供される。音声検索は、音声認識技術の進歩によって、検索精度も向上している。



# VoiceXML部会の意義

## ■ VoiceXMLの普及促進

- ▶ システムモデルの検討
- ▶ 製品紹介

## ■ 技術標準化によるオープン仕様

- ▶ 日本独自要件のインプット





# VoiceXML部会活動要綱

## ■ 目的：

- ▶ VoiceXMLの普及促進
- ▶ VoiceXMLのスキルの蓄積とメンバー間での情報共有を図る
- ▶ VoiceXMLを利用した音声適用業務の開発及び利用促進

## ■ 活動内容：

- ▶ VoiceXMLに関する情報交換、研修会、関連製品紹介、応用事例紹介
- ▶ VoiceXML関連製品の評価
- ▶ 最新技術動向収集
- ▶ VoiceXMLを使用した音声適用業務構築スキルの蓄積
- ▶ VoiceXMLを使用した音声適用業務モデルの作成
- ▶ VoiceXML仕様の検討

## ■ 活動計画：

- ▶ 定例ミーティング実施 (原則 :月一回程度)
- ▶ テーマごとの活動
- ▶ セミナー開催


## ■ 成果物：

- ▶ VoiceXML関連スキル、ノウハウの取得、蓄積
- ▶ 適用業務モデル検討
- ▶ VoiceXML関連市場の拡大
- ▶ VoiceXMLに関する資料全般

■ 部会リーダー :日本アイ・ビー・エム (株) 下畑尚之

■ 部会サブリーダー : 沖電気工業 (株) 坪井正志

■ 部会サブリーダー : (株) 日立製作所 禰寝義人





# VoiceXML部会スケジュール

- ▶ 2000年12月 VoiceXML部会準備会設立合意 (沖電気、日立製作所、日本IBM)
- ▶ 2001年1月16日 新聞発表
- ▶ 2001年4月1日 XMLコンソーシアム入会申し込み開始  
(<http://www.xmlconsortium.org>)
- ▶ 2001年6月18日 XMLコンソーシアム (総会)
  - 部会紹介 - 日本IBM (株) 下畑
  - 部会入会受け付け開始
- ▶ 2001年7月10日 第一回VoiceXML部会開催 (以降月一回ペースで開催予定)







# 第1回VoiceXML部会アジェンダドラフト

日時 : 7月10日 (火) 14:30~ 17:00

場所 : IBM本社 1階 オーディトリウム

14:30~ 15:00 部会リーダー、サブリーダーご挨拶  
準備会参加メンバーご紹介

日本 BM (株) 下畑 (リーダー)  
沖電気工業 (株) 坪井 (サブリーダー)  
(株) 日立製作所 禰寝 (サブリーダー)

15:00~ 15:15 部会の今後の活動方針のご案内

日本 BM (株) 下畑

15:15~ 16:00 VoiceXMLの基礎、日本での最新技術動向

日本 BM (株) 田原

16:00~ 16:30 WebSphere Voice Serverを使用したVoiceXMLデモ

日本 BM (株) 村上 / 須田

16:30~ 17:00 質疑応答及び今後の活動に対するご要望





# VoiceXML部会活動案

## ■ 定例Mtg.

- ▶ 8月 第2回 VoiceXML研修 (株)日立製作所
- ▶ 9月 第3回 CTIにおけるVoiceXML適用事例 沖電気工業(株)
- ▶ 第4回以降 テーマ毎の活動検討  
(適用業務検討、アウトプット定義、仕様書和訳・・・)
- ▶ 定例Mtg.の際に会員から部会活動に対する期待・意見の吸い上げを行う

## ■ ホームページ

## ■ メーリングリスト

## ■ グループ活動

- ▶ ユーザーグループ (いわゆるお客様ではなく、コンテンツ制作、ツール制作などにかかわるグループ) 開発ツール充実させる。
- ▶ システム提供者グループ (インタープリター等を担当するグループ 技術Group) 仕様検討 - > 変更依頼まとめ
- ▶ 仕様和訳

